

6番テーブル 地域力が強い街にしよう



おじさん
VS
若者
のテーブル

■ 地域の活性化と言っても、幅が広い

➤ 聖蹟桜ヶ丘（東京）

- ・ 高度経済成長期のベッドタウン
- ・ 今は、高齢化で買い物難民問題や、治安の問題が顕在化

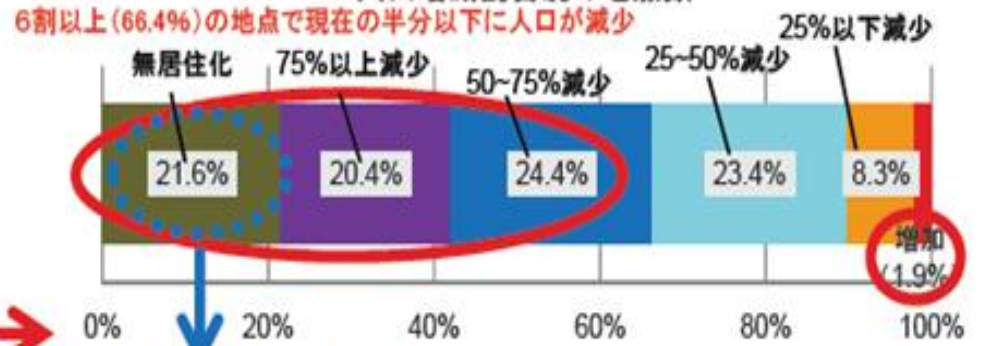
➤ お祭りの時は人が集まる

- ・ 岸和田など
- ・ お祭りのために休みが取れないと、実行委員会が企業へ文句を言いに行く地域もある
- ・ 地域のお祭りの場合は、情報は出ていると思うが、Touchしていない。
- ・ 情報発信者と受信者のミスマッチ
 - 地域ブログでは、

2005年を100とした場合の2050年の人口増減状況



人口増減割合別の地点数



居住地域の2割が無居住化

- 無居住化(100%減少)
- 75%以上100%未満減少
- 50%以上75%未満減少
- 25%以上50%未満減少
- 0%以上25%未満減少
- 増加

(出典) 総務省「国勢調査報告」、国土交通省国土計画局推計値(メッシュ別将来人口)をもとに、同局作成

■ 人が集まる街にするにはどうする？

- 既存の社会の常識を超えた感性

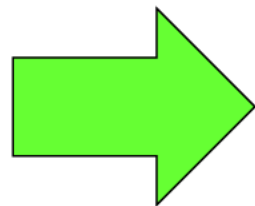
FACTは出るが、
細かいところは
電話や

■ 何を出せばよい？

- アレルギー対応の有無
- 保育所の入りやすさ
- 幸福度指数（安全、高齢者、子育て、学童など）
- 深夜交通
- お店の開店

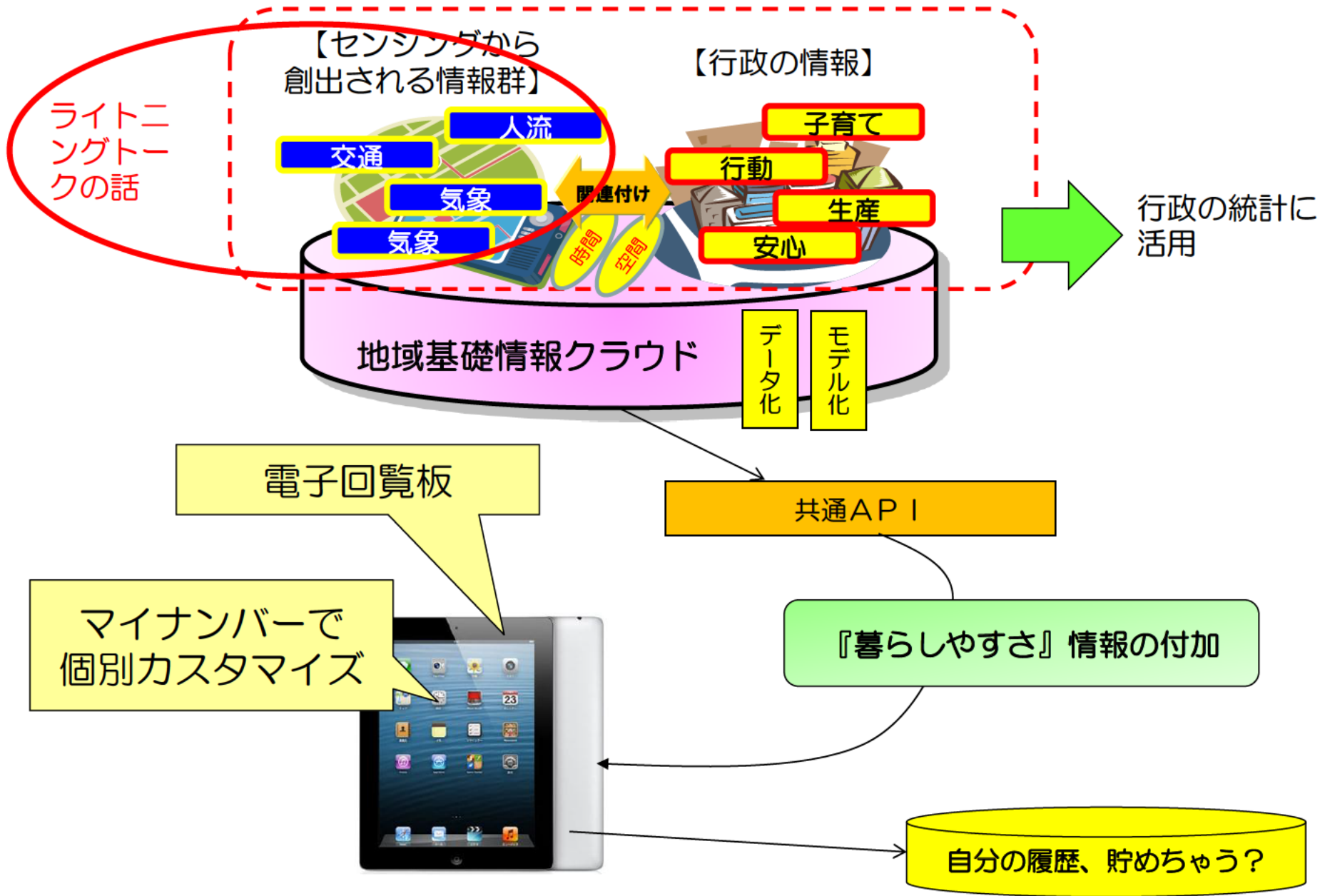
公と民の間の情報
協働で作る必要がある

位置と時間で
可視化は絶対！



行政だけの情報では不十分

「行政からのファクト」+ソーシャルの付
加価値



■ 受容性の課題は存在

- 利用者のメリットがなければ、発信しない。

■ 運用はだれがする？

- ガラは自治体かな？
- 運用は地域NPOかな？